学校番号	T3011

令和８年度　工業科（A 系列）

教科	工業	科目	（学）自動車実習Ⅰ	単位数	４単位	年次	２年次
使用教科書	自動車整備士養成課程　三級自動車整備士（総合）　（日本自動車整備連合会）						
副教材等	「自動車整備」（実教出版）、「自動車工学１」（実教出版） 「自動車工学２」（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

自動車整備を専門的な観点から学習して身につける。自動車の全般にわたる知識を広めつつ機器の基本的な原理を理解すると同時に工具使用方法を学習する。

2　学習の到達目標

【知識及び技術】
自動車の各分野に関する技術を実際の作業に即して総合的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
自動車の各分野の技術に関する課題を発見し、自動車に携わる者として科学的な根拠に基づき工業技術 の進展に対応し解決する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
自動車の各分野に関する技術の向上を目指して自ら学び、自動車の発展に主体的かつ協働的に取り組む 態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	自動車の全般にかかわる広い知識、機器の基本的な動作便利を学び、正しく工具を使用できる力を身につける。	機器の基本的な動作原理を学び、作業手順、作業の安全を考えながら取り組むことができる力を身につける。	安全について十分留意して作業し、協力して考えながら作業を取り組むことができる力を身につける。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期		エンジン分解・組み立て	a:正しく工具を取り扱っていくかどうか、安全に留意できているかどうか b:工具を適切にあつかっているかどうか、 c:自ら進んでとりくんでいるかどうか、自分で考え作業ができているかどうか	工具を正しく使用できているか、整理整頓作業ができているかどうか	ボルトやナットの大きさにあった工具の使用ができているか	進んで作業に取り組んでいるか、自分で考えて作業に取り組んでいるか
		電気実習Ⅰ	a:正しく工具を取り扱っていくかどうか、安全に留意できているかどうか b:工具を適切にあつかっているかどうか、 c:自ら進んでとりくんでいるかどうか、自分で考え作業ができているかどうか	電気の基礎、を正しく理解しているか	回路図や配線図を考えながら作業できているか	仕組みを理解し進んで作業できているか
後期		エンジン分解・組み立て	a:正しく工具を取り扱っていくかどうか、安全に留意できているかどうか b:工具を適切にあつかっているかどうか、 c:自ら進んでとりくんでいるかどうか、自分で考え作業ができているかどうか	工具を正しく使用できているか、整理整頓作業ができているかどうか	ボルトやナットの大きさにあった工具の使用ができているか	進んで作業に取り組んでいるか、自分で考えて作業に取り組んでいるか
		電気実習Ⅱ	a:正しく工具を取り扱っていくかどうか、安全に留意できているかどうか b:工具を適切にあつかっているかどうか、 c:自ら進んでとりくんでいるかどうか、自分で考え作業ができているかどうか	電気の基礎、を正しく理解しているか	回路図や配線図を考えながら作業できているか	仕組みを理解し進んで作業できているか

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度